

## PWA PODERSDORF 2016 レポート

Date: May04-May08,2016

Location : Neusiedler See,Podersdorf,Austria

PWA のフリースタイルツアーを転戦させていただいて、今年で3年目。去年は3戦出場しましたが、コンディションに恵まれず、2戦はキャンセルでした。フェルトベンチュラでの試合は行うことができ、ここではずっと目標だった1回戦を突破することはなんとかできました。そして、今年、新たな目標は1回戦を突破し2回戦でも勝利すること。

PWA フリースタイルツアー第1戦である PODERSDORF はオーストリアにある湖での試合です。去年は風が吹かずキャンセルでした。しかし、今年は初日と2日目だけは吹く予報でした。逗子での大会後ともあり、



試合へのモチベーションも高い状態でオーストリアに向かいました。一人旅は完全に慣れたので、旅への気疲れもしなくなり、少しずつ試合に集中できるようになってきた部分でも成長を感じています。

大会前日のお昼に到着し、すぐに道具のセッティングをして、大会前の調整で少しだけ4.8のセイルを使用し練習しました。

大会当時は、朝から非常に強い風が吹いていて、レジストレーションや開会式の時刻も早められ、お昼からヒートが開始されました。今年からライブスコアリングシステムや新たなルールを導入など、変更点も多く重要なオープニングセレモニーです。強まる風と共に、PWA 第1戦が始まる緊張感とワクワク感に加えて、勝ちたいという気持ちもどんどん増していきました。ついに3年目のワールドツアーが開幕です！



## 強風の初日

大会初日は朝から強い風が吹いていました。朝から 4.0 の FREEK で少しオーバーな風で、3.6 の FREEK もすぐに交換できるようビーチに準備しておきました。どの選手も 4 点台前半のセイルをチョイスしていて、強弱があるもののブローは徐々に強まっていた。逗子の大会が非常に強い風の中で行われたこともあって、強風にも少し慣れていたので、調子は良かったです。そしてヒート表が発表されました。最初の対戦相手は Florian Wegerer。



ボネールの選手で、非常に上手な選手です。風は着実に強まり、4.0 でオーバーでしたが、そのまま試合をしました。今回から 7 ムーブ 3 ピックアップに変更になり、スタポー、ポートで何としてもそれぞれ 3 つずつは技をそろえることが重要です。1 ヒート 8 分です。ホーンが鳴りついに試合開始。Florian にエアフラカにポンチを目の前で決められ、技のクオリティーの差を見せつけられました。私も必死で今できることを精一杯やり、シャカやクロ、フォワード、フラカ等をメイク。対する Flow はその後失敗が目立っていて、もしかすると勝てるかも、とその後もうまくひたすらやり続けました。そして試合が終了します。かなりの手ごたえを感じながらビーチに上がり、ヒート表を見ると、勝ち上がり



りには Flow の名前が。またしても 1 回戦敗退かと非常に悔しい思いで、そのまま練習しに行きました。

しかし、大会側のミスで実際に勝ち上がっていたのは私でした。しかし、そんなことは知らずに 1 時間くらい練習し、休憩しようと上がって、着替えたところで僕が勝っていたことを知り

、10 分後には次の試合があると言われ、急いで濡れたウェットにもう一度着替えることになりました。とてもバタバタして、1 回戦を勝てた喜びも味わう暇もなく、2 回戦へ。対戦相手はワールドチャンピオンを獲ったこともあるスティーブン。スティーブンと試合ができるということを、非常にうれしく思いました。バタバタしながらもスティーブンとの試合が始まりました。私にとってこの試合はとにかく楽しんで自分のできることをやり続けるだけでした。スティーブンはひたすら非常に難易度の高いトリックをすごいスピードで、そしてすごい高さで決めていて、2 倍以上の点差をつけられて負けました。

悔しいという気持ちより、本気で戦ってくれたスティーブンに感謝の気持ちがありました。正直、現実的にレベルの差は非常に大きく、この差はそう簡単には縮まらないですが、スティーブンは一切手を抜かずしっかりと試合をしてくれ、トップの力を、身をもってわかることができました。必ずいつか対等に戦えるように上手くなってみせます。シングルの2回戦目はトップ10がシードで待っているの、この壁は非常に大きいということです。

そして、夕方からダブルイリミネーションが開始。ダブルの1回戦目の相手は Sam Green というオーストラリアの選手。初めて会った選手でした。この強風と荒れた面に苦戦しているようでした。一方僕はシャカヤクロ、フラカ、ファネル、フォワード等のトリックを順当に決め、またしても1回戦突破。PWAでは1回戦突破でも非常に自信につながります。そして勝てるイメージがわいてくるので、この連続して1回戦を突破できたことは気持ちの部分でも非常に優位に立てます。

2回戦目は Max Rowe というイギリスの有名な選手です。このヒートでは、疲れが出てきたのか失敗が目立ち、相手に負けたというよりも、自分に負けたといった感じです。体力的な部分でもトレーニングが必要であると感じました。2回戦を突破することはできませんでしたが、非常に充実し、得るものも大きかった大会初日でした。

## 風が弱まった大会2日目

初日から吹き続けた風も朝には弱まっていて、選手たちも 5.2 前後を使用するコンディションでした。2日目はダブルを最後まで行い、2回目のシングルに突入しました。4.0 から今度は 5.2 の FREEK を使用するアンダーコンディション。忙しい大会です。でも得意なアンダーコンディションで、またしても1回戦目の相手は Sam Green。得意なコンディションで着実に技数を揃えていき、またしても1回戦突破。次はタティーとの試合でした。いつも良くしてくれるタティーとの試合。僕の憧れの選手の一人でもあり、非常に楽しみにしていましたが、ヒート直前で風が落ちてしまい、残念ながらそのまま終了。タティーとの試合は実現しませんでした。

しかし、今回の試合ではたくさん勝ちを経験でき、自信につながり、そして2回戦目の壁の大きさを知るとともに、次の目標設定もすることができました。新たな発見もあり、相手との点数の差もわかり、次のフェルトベンチュラの大会までにもう少しレベルアップして大会に臨みたいです。まだまだ、1回戦は勝てたといっても技一つ一つの点数は低く、運良く勝てた部分もあるので、もっと高難易度のトリックを増やすとともに、技のクオリティを高めていく必要があります。その先に2回戦突破のカギがあるので、もっともっと練習していきます。いつも応援していただいて



いる方々、そしてスポンサーの

- ・ STARBOARD
- ・ SEVERNE SAILS
  - ・ 江戸ー
  - ・ Lucky Island
- ・ グローバルアイ
  - ・ ON'S
  - ・ GoPro
- ・ adidas eyewear
- ・ ZEN NUTRITION
  - ・ CB SURFERS
- ・ Zushi Windsurf School

のサポートがなければ、この場には立てていません。本当に感謝しております。  
さらに上を目指し、日本のウインドサーフィンをもっと盛り上げられるよう、そして新しい選手たちを引っ張っていけるよう、自分のレベルアップにつとめ、もっと活躍していきます。いつも応援ありがとうございます。

J-100 小林悠馬